

第 3 学年 英語 科学習指導案

日 時 平成23年 9月30日 (金) 6校時
学 級 3年1組 (男子18名 女子16名 計34名)
場 所 3年1組教室
指導者 氏家 啓道

1 単元名

Unit5 Cell Phones-For or Against (東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3)

2 単元について

(1) 教材観

この単元は「携帯電話」の使用について「議論 (discussion)」を展開する内容になっている。Starting Out では博物館にある「電話の歴史コーナー」でガイドが昔の電話機や電話交換手によって電話が繋がっていたことを説明している。ここで、昔の電話から現在までの電話の変遷を知ることができる。Dialog では携帯電話を使って友達と長話をするマイクに母親が注意をする場面である。携帯電話の料金を巡っての親子の会話となっている。この会話では、携帯電話使用時の問題点の1つを紹介している。Reading For Communication ではマイクがインターネット上の掲示板で、携帯電話の使用について意見が交換される場面である。マイクの母の「中学生は携帯電話を持つべきではない。」という意見に対して、5つの意見が紹介されている。これらの学習を通して、他の意見や内容を聞き取ったり、読み取ったりできる力や自分の意見を持ったり、書いたりできる力を伸ばしていきたい。そして、「議論 (discussion)」をする上での基礎を身に付けさせた。また、現在でも問題になっている中学生の携帯電話使用について考える機会とした。

言語材料としては現在分詞及び過去分詞による後置修飾 (形容詞的用法)、間接疑問文がある。現在分詞は1年生時に現在・過去進行形で、過去分詞は3年生時の受け身形で学習している。混乱しない程度に関わりを持たせながら、指導し、定着を図りたい。間接疑問文については「疑問詞+主語+動詞」の語順となるので、通常の疑問文との違いを意識させながら指導していきたい。

この単元で学習したことを使って、Listening+1では優先席について聞き取り、Writing+1では優先席を巡る様々な考えを読むところにつながっていく。それぞれで、自分の意見を持ち、できれば話したり、書いたりしながら表現できるところまで指導していきたい。

(2) 生徒観

基本的に英語学習に真剣に取り組んでいる。単純に「聞くこと」「話すこと」に関しては友達と積極的に会話する場面が多く見られているので、違和感なく取り組める雰囲気になっていると感じる。「読むこと」に関しても音読練習に真剣に取り組む生徒が増えてきている。しかし、学んだことを使って、自分のことを話したり、書いたりする自己表現について不得意な生徒が多い。これは英語に限らず、普段の生活も同様である。よって今回、様々な意見を聞いたり、読んだりしたことに対して、自分の意見を持ち、表現するという単元は生徒の成長にとって大切な場面と考える。

このようなことから基礎・基本の定着を目指しながら、4技能 (聞くこと・話すこと・読むこと・書くこと) をバランスよく指導しながら、自分の考えたことを表現できるところまで指導していきたい。

本研究では、家庭での学習をテーマとしている。8割程度の生徒は、文法的な内容の確認や学んだことを使っての自己表現の宿題に取り組んでいる。2割程度の生徒はなかなか取り組めていない。授業につながるような家庭学習を工夫し、より意欲を喚起する必要があると感じるので、工夫していきたい。

また、英語検定の取得に関して、現在3級11名、4級43名、5級57名 (延べ人数) となっている。

(3) 指導観

現在分詞及び過去分詞による後置修飾（形容詞的用法）は英語らしい表現と言える。聞いて内容を理解したり、話して相手に伝えたりできるようにしたい。間接疑問文については語順を意識させながら、話したり書いたりできるように指導したい。

この単元では「議論（discussion）」を扱っている。中学3年生ではぜひ学びたいところである。「携帯電話めぐる話題」は今日の関心事なので、自分たちと照らし合わせながら、まず、最初に自分の意見を持たせたい。そして、今まで学習した内容を使いながら、英語で表現できるように指導していきたい。

本研究では、家庭での学習と授業を連動させたり、思考力・判断力・表現力等の育成を図る発問や展開を工夫して主題にせまろうとしている。今回の授業では、あらかじめ新出文法の入った文の意味と文法について調べてくるという課題を出している（予習）。出来ない生徒は授業中に理解させ、家庭で自己表現にチャレンジさせたい。自分が家庭で調べたことをもとに授業が進むので、意欲を持って取り組んでいくことを期待している。また、学んだことを使って表現できる場が豊富なので、自己表現させながら、表現力を高めたい。

機能としては、「紹介」「命令」「質問」「賛成する」「反対する」「意見を言う」などがある。場面に合わせて表現できるように指導したい。

3 単元の目標・指導計画・評価規準

(1) 目標

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ・携帯電話の使用について賛成・反対の立場を決めて、自分の意見とその理由を述べようとする。

【表現の能力】

- ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾（形容詞的用法）、間接疑問文を使って様々なことを説明できる。
- ・携帯電話の使用についての意見を聞き、自分の考えを持ち、話したり、書いたりしながら表現できる。

【理解の能力】

- ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾（形容詞的用法）、間接疑問文の入った文を聞き取って内容を理解することができる。
- ・携帯電話の使用についての意見を聞き、話している内容を理解できる。

【言語・文化についての知識・理解】

- ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾（形容詞的用法）、間接疑問文の形・意味・用法を理解できる。
- ・電話の歴史や議論（discussion）について理解できる。

(2) 指導計画と評価規準

①指導計画

Starting out	1時間
Dialog	1時間
Reading For Communication	3時間 (2/3 本時)

②評価規準

時間	学習活動	評価規準 (評価方法)			
		コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化について知識・理解
1	<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法を理解する。 ・電話の歴史を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾の文を使って表現できる。(プリント・発表による評価) 		<ul style="list-style-type: none"> ・現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法が理解できる。(プリント評価) ・電話の歴史について理解できる。(プリント評価)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文の形・意味・用法を理解する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文を使って、話したり、書いたり表現できる。(プリント・発表による評価) 		<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文の形・意味・用法を理解できる。(プリント評価)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を読み、内容を理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を理解しようとする。(ノート) 		<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を聞き取ったり、読んだりして理解できる。(プリント) 	
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用について、自分の意見とその理由を持ち、発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を理解し、自分の意見とその理由を持つようとする。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用について、賛成・反対の立場を決め、自分の意見とその理由を表現できる。(発表評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用について友達の見聞を聞き取ったり、読んだりして理解できる。(プリント) 	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の意見に対して、自分の意見を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の意見に対して、自分の意見を書こうとする。(観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板の意見に対して、賛成・反対を明らかにし、自分の意見を書ける。(プリント評価) 		

4 本時の指導

(1) 目標

【表現の能力】

- ・携帯電話の使用について、賛成・反対の立場を決め、自分の意見とその理由を表現できる。

【理解の能力】

- ・携帯電話の使用についての友達の見聞を聞き取ったり、読んだりして理解できる。

(2) 評価規準

評価規準	具体的評価規準		努力を要する (C) 生徒への手立て
	十分に満足できる (A)	おおむね満足できる (B)	
表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用について、賛成・反対の立場を決め、自分の意見とその理由を何も見ずに発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用について、賛成・反対の立場を決め、自分の意見とその理由についてメモなどを見ながら発表できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視しながら、個別に指導する。また、班活動を利用する。
理解の能力	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を聞き取ったり、読んだりして、内容を理解し、自分の意見を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の使用についての意見を聞き取ったり、読んだりして、内容を理解し、感想を持つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモでもいいので、書いてみるよう指導する。

